

2021（令和3）年度 地域日本語教育の総合的な体制づくり推進事業報告書（概要版）

公益財団法人横浜市国際交流協会（YOKE）

横浜 × 日本語 × 多文化共生 ～ 横浜の地域特性を踏まえた日本語学習支援を通じ、多文化共生のまちづくりの推進へ～

■趣 旨

- 横浜市の外国人人口は、ここ5年間で約3割増加、10万人を突破しました。今後、一層の増加が見込まれる中で、特に増加が見込まれる外国人労働者が生活の場で円滑にコミュニケーションのできる環境を整えていく必要性が高まると考えられます。
- 2019年度には「横浜市域における地域日本語教育の総合的推進に係るアクションプラン」の策定及び「実態調査」を行い、2020年度は、その結果を基にして、横浜市域における地域日本語教育の体制づくり推進事業を進めました。
- 2年目にあたる2021年度は、中核的な拠点「よこはま日本語学習支援センター」を基盤とし、関係機関・団体とのより一層の連携促進を図りつつ、地域日本語教室への支援の充実、モデル地域での関係団体のネットワーク構築の強化、新たなニーズに対応する企業と連携したプログラムの検討実施などを展開しました。

■実施主体 公益財団法人横浜市国際交流協会（YOKE）（横浜市国際局委託事業）
文化庁「令和3年度 地域日本語教育の総合的な体制づくり推進事業」採択事業

■実施期間（予定） 2021年4月1日から2022年3月10日
（アクションプランの計画期間は、2020年度～2024年度までの概ね5年間）

■実施目標

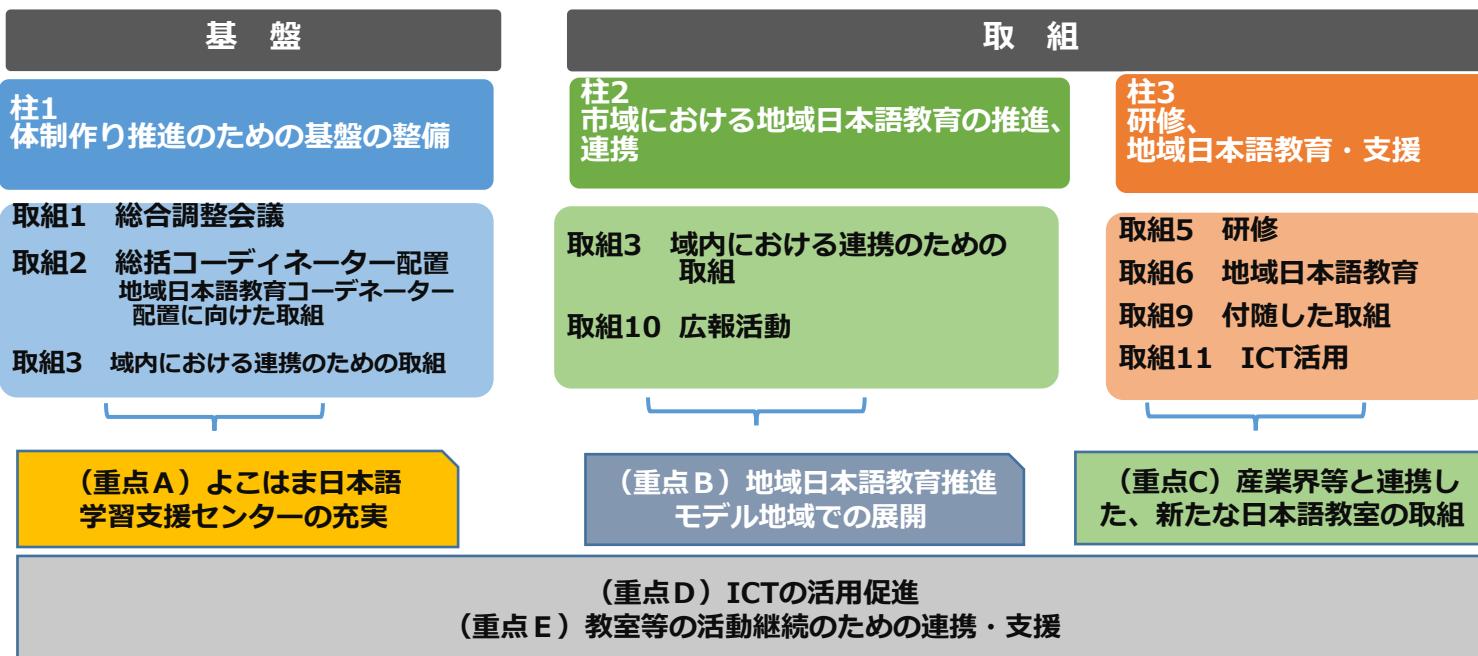
- 1 外国人住民に身近な存在である「地域日本語教室」を 横浜市域の地域日本語教育推進のベースとして、日本語指導力の強化や教室の活動内容の改善等、各教室の底上げが図られるよう、ネットワーク推進のための仕組みを形成します。
- 2 横浜市国際交流協会が地域日本語教育の中核的な役割を担い、上記ネットワーク構築の支援、日本語学習支援者の発掘や養成、新たなニーズに応える日本語教室の開催などにより、地域における日本語教育を支援・推進します。
- 3 市域日本語教育の推進に係る関係機関・団体等の有機的な連携の促進を図ります。

■事業を通じて目指す姿（アクションプラン）

子どもから大人までの切れ目のない地域日本語教育（学習支援）の実現を目指します
そして、外国人が地域で安心して生活し、さらに地域社会で活躍できる、多文化共生のまちづくりの推進にもつなげます

■事業の概要（3本の柱・8つの取組・5つの重点取組）

3本の柱、8つの取組（うち5つの重点取組）で構成し、事業を実施しました。

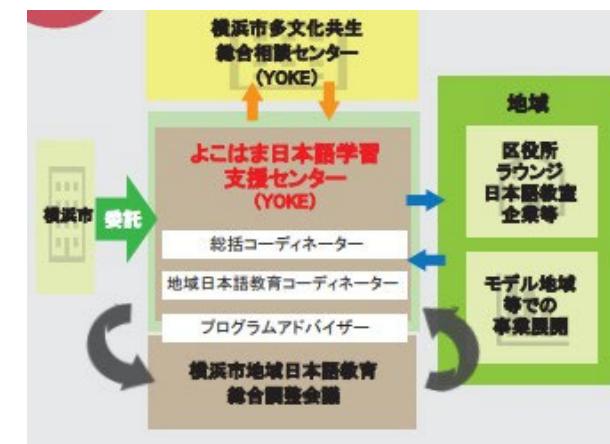


（注）「取組○（数字）」は、文化庁設定の取組番号に対応しており、4・7・8は該当なし。

■5つの重点取組説明

- （重点A） 地域日本語教育の支援拠点の機能を充実させ、広報機能を強化しました。
- （重点B） モデル地域（区）と連携し日本語教室支援や関連団体とのネットワーク構築を進めました。
- （重点C） 企業従業員に向けた職場や地域での「生活に必要な日本語教室」等を実施しました。
- （重点D） 教室以外でも日本語を学ぶ方法として、ICT教材の紹介やオンラインの講習を行いました。
- （重点E） 情報交換の場の設定やオンラインでの活動支援等、地域日本語教室をサポートしました。

■推進体制



- YOKE内に設置した、地域日本語教育の中核的な拠点「よこはま日本語学習支援センター」が中心となり、事業を推進しました。
- 同センターに総括コーディネーター及び地域日本語教育コーディネーターを配置し、地域において区役所・ラウンジ・日本語教室・企業等との連携やモデル地域での事業展開を進めました。
- 推進にあたっては、総合調整会議、プロジェクト推進ワーキンググループ（総合調整会議の分科会）での意見聴取・意見交換、およびプログラムアドバイザー（総合調整会議委員から委嘱）の助言を踏まえて事業を進めました。

2021（令和3）年度 地域日本語教育の総合的な体制づくり推進事業

実施結果 （2021年4月1日～2022年3月10日）

公益財団法人横浜市国際交流協会（YOKE）

横浜 × 日本語 × 多文化共生

～ 横浜の地域特性を踏まえた日本語学習支援を通じ、多文化共生のまちづくりの推進へ～

基盤

柱1 体制づくり推進のための基盤の整備（取組1・2・3）

市域における地域日本語教育推進のための基盤を整備しました。拠点センターを設置し、また、総合調整会議を立ち上げるなど、推進にあたっての枠組みを作りました。

取組1 総合調整会議の設置

- 1-1 総合調整会議（6・11・2月）
- 1-2 プロジェクト推進ワーキンググループ（地域連携／担い手育成（研修）／日本語教室）（7・8月、1・2月）
- 1-3 プログラムアドバイザーの配置

取組2 2-1 総括コーディネーター配置 2-2 地域日本語教育コーディネーターの配置

取組3 域内における日本語教育の実施に関する連携のための取組

3-1 よこはま日本語学習支援センターの運営 ★重点★

（注）1★重点★は重点取組
2「取組○（数字）」は、文化庁設定の取組番号に対応しており、4・7・8は該当なし。

柱2 市域における地域日本語教育の推進、連携（取組3・10）

関係機関・団体との連携促進を図りつつ、地域日本語教室への支援や、モデル地域での関係団体ネットワーク構築等を行いました。

取組3 域内における日本語教育の実施に関する連携のための取組

- 【再掲】3-1 よこはま日本語学習支援センターの運営
- 3-2 連携（連絡会、研修会）国際交流ラウンジ協議会日本語分科会（7月）
- 3-3 相談対応：日本語学習、支援に関わる相談対応「YOKEにほんご相談室」★重点★
- 3-4 相談対応：地域日本語教室への個別訪問「まちなにほんご伴走隊」★重点★
- 3-5 広報・情報提供：情報冊子 ★重点★「にほんごコミュニケーション」の発行（6・9・12・3月）
- 3-6 広報・情報提供：ホームページの充実★重点★（よこはま日本語学習支援センター・YOKE）
- 3-7 広報・情報提供：日本語・学習支援教室データベース（横浜）の運営 ★重点★
- 3-8 地域日本語教室・学習支援教室へのアンケート実施 ★重点★（5月・10月）
- 3-9 地域日本語教育推進モデル地域 ★重点★
3-9-1 磯子区・3-9-2 緑区・3-9-3 瀬谷区
3-9-4 モデル地域連絡会（5月）
3-9-5 2020年度モデル地域活動報告会（7月）
- 3-10 地域日本語シンポジウム「まちな日本語プラットフォーム2021」（2月）

取組10 日本語教育に関する広報活動

- 【再掲】3-1 よこはま日本語学習支援センターの運営
- 【再掲】3-5 情報冊子の発行
- 【再掲】3-6 ホームページの充実
- 【再掲】3-7 教室データベース（横浜）の運営

取組

柱3 研修・地域日本語教育・支援（取組5・6・9・11）

外国人も含めた日本語学習支援者の育成、企業と連携した日本語教室開催やICTの活用など、新たなニーズに対応するプログラム展開を試みました。さらに、ICTを活用した学習教材や学習法、オンラインでの日本語学習支援等、新たな日本語学習・学習支援のスタイルの広がりを支援しました。

取組5 日本語教育人材に対する研修

- 5-1 日本語教室運営者等向けの研修「地域日本語教室のグループ運営をふりかえろうーそして前に進もうー」（2月）
- 5-2 入門研修（一般向けコース）「横浜で始めよう！日本語ボランティア」（10・11月）
- 5-3 入門研修（外国人対象コース）「外国の方向け日本語ボランティア入門講座」（2月）
- 5-4 ブラッシュアップ研修「相手も自分も大事にする日本語教室を目指そう！」（3月）
- ICT活用講座「支援者向けオンライン日本語学習支援講座」 ★重点★
5-5・5-6「ビデオ会議システムZoomを使ってみよう」（参加編）（開催編）（12月コース／1月コース）
5-7「オンライン日本語学習教材を活用してみよう～（夏期／秋期）」（活用（日本語学習支援）編）
- 5-8-1 日本語教育人材の活躍促進／関連事業「よこはま地域日本語実践もちより会」（7月）
- 5-9 地域日本語教育推進モデル地域事業としての講座 ★重点★
3-9-1 磯子区「磯子で日本語ボランティアブラッシュアップ講座」（12月）
「使ってみよう、やさしい日本語」（1月）
3-9-3 瀬谷区「日本語ボランティア入門講座フォローアップ研修～瀬谷でつながるくらしの日本語」（1・2月）

取組6 地域日本語教育の実施

- 6-1 企業従業員向け日本語教室：横浜で「たのしくはたらく」日本語教室（11～2月）★重点★
- 6-2 外国人親子日本語教室「おやこで にほんご」ともだちになろう（8・9月）／つるみであそぼう はなそう（12・1月）
- 6-3 初期日本語教室「はじめての横浜 日本語で話そう」（1・2月）
- 6-4 ICT活用日本語教室 日本語学習者向け「よこはまでつながるくらしの日本語（夏・秋期）」（9・10月、11月）★重点★
- 6-5 地域日本語教育推進モデル地域事業としての日本語教室 ★重点★
3-9-2 緑区「日本語教室『ようこそ にほんご @みどりく（秋／冬コース）』」（11・12月、1・2月）
3-9-3 瀬谷区「『せやでつながる くらしのにほんご～みんなではなそう～』」（1・2月）

取組9 地域日本語教育に付随して行われる取組

- 9-1 企業向け異文化間理解講座「外国人スタッフに伝える！伝わる！異文化間コミュニケーション講座」（3月）★重点
- 9-2 学習者向けにほんご交流会「オンラインおしゃべり交流会 ほっとタイムNIHONGOではなそう！」／特別編「留学生と話そう！」（11月）

取組11 ICTを活用した教育・支援 ★重点★

- 【再掲】ICT活用講座「支援者向けオンライン日本語学習支援講座」
5-5 参加編・5-6 開催編（5～9月、12・1月）、5-7 活用（日本語学習支援）編（8・10・11月）
- 【再掲】6-4 ICT活用日本語教室（9・10・11月）